

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.217

2023. 11. 1

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

すすめよう！「憲法改悪を許さない全国署名」岩手の署名は 31,028 筆

◇返信用封筒あり。地域配布に活用ください。 （上記署名数は 10 月末時点。うち郵送 351 通・1,364 筆）

平和を伝えていくのはわたしたちの 1 歩から～「PeaceNow! Okinawa2023」～

「PeaceNow!」は、全国大学生協連合会が主催する会員生協の組合員を対象とした、平和を考えるための体験型プログラム。世界でたった 2 都市の被爆地である「広島」「長崎」、日本で唯一住民を巻き込んだ地上戦が行なわれた「沖縄」の 3 地域で開催し、被爆者や戦争体験者の証言を聞いて当時の様子を追体験したり、今も残る戦跡を巡ったり、参加者同士が自分の考えを交流し、平和についての考え深めるセミナーです。9 月 5 日から 9 月 7 日に開催された「PeaceNow! Okinawa2023」に、岩手から 2 人の学生が参加しました。

＜オキナワを見て、触れて、当時の人の想いを感じた＞

ひめゆり平和祈念館にてビデオで見た、元学徒隊の宮城喜久子さんの体験談は衝撃的でした。

負傷した日本兵の身体に沸いたうじ虫を素手で取る、砲弾によってできた穴に死体を投げ捨てる、など現実味の



ない話ばかりでした。淡々と語る姿を見て、本当のことなのだという実感が湧き、胸が苦しくなりました。瀕死の友達を置いて逃げた時の話は、気持ちを想像するだけで辛く涙がでてきました。

また、「真実を知らないことがどれだけ不幸なことか」と話されていました。学校でアメリカ人は鬼であると教えられてきたが、実際自分を救ってくれたのはアメリカ人であった。ことを話していた時でした。学校での教えを疑わず、気付かないうちに洗脳されていたそうです。無知であることは怖いことだと思いました。当時を知るのと同時に宮城さん

から平和を願う気持ちも受け取った気がします。

（盛岡大学 1 年 大冨桃子）

＜PeaceNow で見つけたきっかけを通して、平和のために行動する＞

旧海軍司令部壕の中の空気は、全体的に重く、かなり息苦しかったです。もともとじめじめした場所とはわかっているけど、戦時中の記録から当時の人々がたくさん逃げ込んでいたこと、けが人や死傷者で当時はもっと酷い臭いがしていたことを想像したとき、壕の中の空気がより一層苦しく感じました。同時にそれは「外の空気のおいしさ」を強調してくれました。

また、幕僚室には当時の幕僚らが自決したときの手りゅう弾の痕跡が残っており、戦争の生々しさが壕の空気とともに全身に伝わってきました。

身の回りの小さな平和、人との関わりを大切に、その関わりをもとに「平和について“皆で”考える事」が大切だと私は考えています。（岩手県立大学 1 年 戸澤望）



「11月の岩手の会街宣行動」9日(木)12:15～12:45盛岡市大通・野村証券前

ご都合のつく方は、ぜひご参加下さい。

核兵器のない平和で公正な世界を！

～原水爆禁止 2023 年世界大会～

「原水爆禁止2023年世界大会」は長崎県で開催され、岩手県からは県医労 1 名を含む 21 名が参加しました。当初の日程は8月7日～9日まででしたが、台風6号の接近により開催日程が短縮され、8日の午後に閉会総会が行われることとなりました。しかしながら、台風の影響は大きく、岩手県代表団は8日以降の予定を全てキャンセルし、帰途につくことを決断。1日しか世界大会に参加することが出来ず、残念な結果となってしまいました。

その中で、原爆中心碑や原爆資料館等での原爆遺構見学では、改めて原爆の威力や悲惨さを痛感することとなりました。見学する外国人の姿も多く見られ、原爆に対する関心の高さに「日本人としてこの歴史を風化させてはいけない」との思いを強くしました。

開会総会で長崎市長は「核兵器をなくすことは悲願」、「引き金となる戦争を無くすことが重要」と話され、「これからも平和の輪を広げることを目指す」と力強く話されました。その他、各国の政府代表及び平和運動の代表者から自国の考えや軍備増強に関する話題などが提供されました。



「世界終末時計」は過去最短の 90 秒を指しました。ロシアとウクライナの戦争だけでなく、隣国である中国の核兵器増強や北朝鮮の弾道ミサイル実験の大幅強化など、私たちのすぐ近くに核兵器の脅威が迫っています。いま開発されている核兵器は広島・長崎に落とされた原爆とは比較にならないほど高性能であり、一度使用されれば地球上の動植物が死滅する核の冬が到来するとされています。

今回の世界大会を通じて、核兵器や戦争の脅威に怯えることのない、健やかで笑顔の絶えない生活を送るためにも、私たち一人ひとりが平和を願う心を強く持ち、核兵器禁止・廃絶の声をあげ続けることが重要だと思いました。

(岩手県医療局労働組合 菊池宗朗)

コラム — 侵攻ロシアの拒否権(行使は)非難、イスラエルは擁護、米国の二重基準に世界失望—

今回は米国の国際政治を、一報道記事を抜粋する形で確認し合いたと思います。

【エルサレム共同＝(記者名) ‘23年10月20日付け岩手日報】…国連安全保障理事会は10月18日、戦闘の一時停止を要請する採択したが、米国の拒否権行使で否決された。…

ブラジルは13日にガザ地区情勢に関する決議案を提示し、人道状況改善に焦点を当て、当初案にあった「停戦」要請を戦闘の「一時停止」に後退、イスラエルの名指しも極力避けた事実上「骨抜き」(外交筋)にしてまで、米国の理解を得ようと腐心した。理事国15カ国のうち日仏など12カ国の賛成を得たものの、米国の反対で数日間の交渉は水泡に帰した。また、安保理でも16日にロシアが停戦要請する決議案を提出したが否決された。米国や英国、日本はイスラエルを攻撃したイスラム組織ハマスの名指しで追及していない等として反対に回ったからだ。

パレスチナのマンスール国連大使は18日の会合で、17日のガザの病院爆発を念頭に「2日前に停戦を呼びかけていれば数百人の命が助かっていたかもしれない」と無念さを口にした。ハマスを強く非難するブラジル決議案まで拒否権で葬った米国に、「(ガザでの)惨事に責任を負う」と語気を強めた。…

米国はなぜ拒否権行使を強行したのか。トーマスグリーンフィールド米国連大使は「イスラエルの自衛権」への言及がないことを理由に挙げた。だが中国の張軍国連大使は、米国はこれまで反対を表明していなかったとし、決議案否決は「信じ難い」と非難した。…

米国はこれまでもイスラエルを非難する決議案が提出されるたびに、拒否権を使ってきた。…ロシアのウクライナ侵攻での拒否権(行使)を非難しながら、地上侵攻を視野に入れるイスラエルを擁護するダブルスタンダードに各国は失望を隠さない。…

私たちは、米国の「国際政治」を見るときも、「日本国憲法を守る」視点からしっかり見ましょう。「日本国憲法」に基づく「平和外交」をしっかりと主張しましょう。(T)